

消防吏員ゴム長靴仕様書

京都市消防局総務部施設課
(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調整する消防吏員ゴム長靴（以下「ゴム長靴」という。）の仕様について定める。

第2 調達数、履行期限及び納入場所等

1 調達数

ゴム長靴（踏み抜き防止インソール入り）
190足

2 履行期限

令和8年9月18日（金）まで

3 納入場所

- | | |
|----------------|---------------------------|
| (1) 当局本部庁舎 | 京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2 |
| (2) 消防活動総合センター | 京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94番地の4 |
| (3) 消防学校 | 京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内21番地の3 |
| (4) 北消防署 | 京都市北区大宮西脇台町17番地の2 |
| (5) 上京消防署 | 京都市上京区釜座通下立売下る東裏辻町398番地 |
| (6) 左京消防署 | 京都市左京区田中西大久保町36番地 |
| (7) 中京消防署 | 京都市中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521番地 |
| (8) 東山消防署 | 京都市東山区清水五丁目130番地の8 |
| (9) 山科消防署 | 京都市山科区西野今屋敷町2番地の10 |
| (10) 下京消防署 | 京都市下京区五条通高倉西入堺町27番地 |
| (11) 南消防署 | 京都市南区西九条菅田町4番地の1 |
| (12) 右京消防署 | 京都市右京区太秦蜂岡町36番地 |
| (13) 西京消防署 | 京都市西京区樫原佃19番地 |
| (14) 伏見消防署 | 京都市伏見区竹田七瀬川町9番地の1 |
| (15) 醍醐消防分署 | 京都市伏見区醍醐大構町28番地 |

4 その他

- 製作に当たり仕様に疑義が生じた場合は、速やかに当局と協議すること。
- 各サイズの数値及び納品場所別の内訳については、契約後指示する。

第3 ゴム長靴

1 主要材料

主要材料は下表のとおりとする。

| 名称 | 使用材料 | |
|----|----------------|--------|
| 甲被 | 軟質PVC(ポリ塩化ビニル) | ブラック |
| 表底 | | |
| 裏材 | 合成繊維ストッキング | スカイブルー |

なお、甲被及び表底は、使用目的に適合した組織の均等な軟質PVC（ポリ塩化ビニル）を用い、JIS T 8107：2020（安全靴）の試験方法によって試験し、下表に適合するものとする。

| 項目 | | 甲被 | 表底 |
|------|----------|-------------------|--------|
| 引張試験 | 引張強さ | N/mm ² | 6以上 |
| | 伸び | % | 8以上 |
| 耐老化性 | 引張強さの変化率 | % | 200以上 |
| | | | 300以上 |
| | | -20～20 | -20～20 |

- 2 製法
射出成形製法とする。
- 3 構造及び寸法

- (1) 構造

靴はブーツ形状で、着脱可能なインソールを使用し、履き口部をカットすることにより2段階の筒丈が選択でき、靴内部に通気溝等によりムレを低減する構造とし、甲被内側表面に靴同士がくっつきにくい加工を施したものとする。(別図1及び2参照)

- (2) 寸法

靴の寸法は下表のとおりとする。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----|------|----|------|----|------|-----|------|----|------|----|------|-----|----|----|-----|--|-----|
| サイズ | cm | 22 | 22.5 | 23 | 23.5 | 24 | 24.5 | 25 | 25.5 | 26 | 26.5 | 27 | 27.5 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |
| ウイズ | | EEE | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 後部高さ | mm | 320 | | | 330 | | | 340 | | | 350 | | | 360 | | | 370 | | 380 |
| 許容差 | | ±3% | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- 4 完成品の性能

靴の漏れ防止性は、JIS T 8107:2020の漏れ防止試験方法によって試験したとき、気泡が連続して出てはならない。

- 5 品質及び外観

形状が均整で、使用上有害な傷、斑点、汚れ及びその他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

- 6 包装

1足ずつ個装箱に詰めること。

- 7 表示

- (1) 製品

サイズ等を容易に消えない方法で表示すること。

- (2) 個装箱

品名、サイズおよび製造業者名等を表示すること。

- 8 その他

ゴム長靴の個装箱には、第4で示す踏み抜き防止インソールを各サイズに応じて1組同梱すること。

第4 踏み抜き防止インソール

- 1 型式

かかと部カップタイプの全敷とする。

- 2 性能

靴に内装することにより、JIS T 8101:2020(安全靴)の耐踏抜き性(P)に相当する踏抜き強度1, 100Nを達成すること。

- 3 構造及び寸法

インソールの構造はインソールにステンレス板を取り付け、合成材に挟み込むように縫付けたもので、サイズは下表の通りとする。

| | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 21.0~22.5cm | 23.0~24.5cm | 25.0~26.5cm | 27.0~28.5cm | 29.0~31.0cm |
| S S | S | M | L | L L |
| 重量は220g以下とする | | | | |

- 4 各部の名称及び材料

インソールの各部の名称と材料については下表のとおりとする。

| 名称 | 材料名 | 備考 |
|----------|----------|------------|
| 芯体 | ステンレスバネ鋼 | 厚さ0.5mm 標準 |
| インソール表材 | 合成材+EVA | 厚さ2.0mm 標準 |
| インソール裏材 | 不織布 | 厚さ1.5mm 標準 |
| 縫糸 | 合成繊維糸 | #20番手相当 |
| 中足パット | EVAスポンジ | 厚さ2.0mm 標準 |
| ヒールクッション | | |

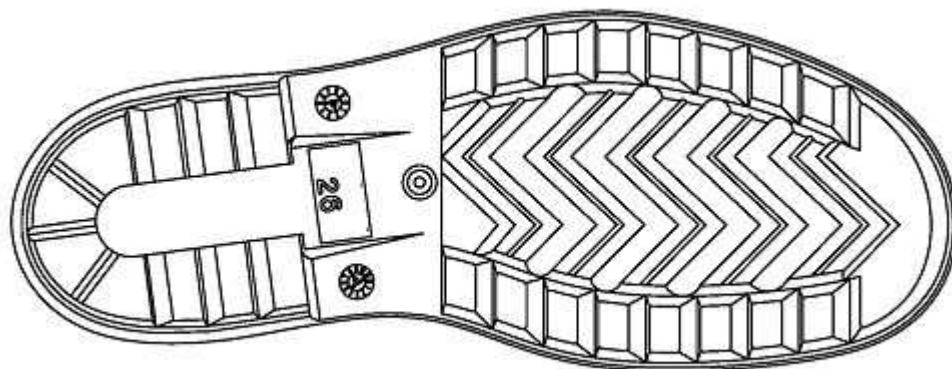
- 5 外観図

別図3参照

別図1 (外観)



別図2 (底意匠)



別図3 (インソール外観)



※図による各部の形状は多少の相違を認めるものとする。